

お知らせ

資料提供先

倉吉記者クラブ

天神川水系の「重要水防箇所」を公表します。

～ 水害への備えを万全に ～

- 毎年、梅雨前線や台風による出水が気になる時期があります。このたび国土交通省倉吉河川国道事務所では、「重要水防箇所」を公表します。
- 「重要水防箇所」とは、洪水時に危険が予想され、重点的に巡視点検が必要な箇所を示すもので、その重要度によって3つのランクに分類されます。
- 天神川水系においては、管内の堤防延長約83kmのうち「重要水防箇所」が全部で64箇所、約20kmあります。このうちAランクは12箇所、約3.5kmあります。
※別紙 直轄河川重要水防箇所調書及び図面 参照
- 「重要水防箇所」は、河川改修事業などの対策を講じることによって、ランクが下がったり、解消されたりします。
- 台風などの出水時には、地元の水防管理団体(市、町)がこれらの「重要水防箇所」の巡視・点検を重点的に行うなど水防活動にあたります。
- なお、この情報については、インターネットホームページでも公表します。
国土交通省中国地方整備局 倉吉河川国道事務所ホームページアドレス
→ <http://www.kurayoshi-mlit.go.jp/>

平成17年 6月10日

問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局倉吉河川国道事務所

副所長(技) 森脇 修身
河川管理課長 玉木 良二

電話 0858-26-6221 (代)

※ 重要水防箇所について

「重要水防箇所」とは、洪水時に危険が予想され、重点的に巡視点検が必要な箇所をいいます。「重要水防箇所」には、

- A 水防上最も重要な区間
- B 水防上重要な区間
- 要注意区間

の3ランクがあります。

また、堤防の高さや洪水流下のための断面、堤防からの漏水等の観点から「重要水防箇所」の「種別」を区分しています。

種 別	ラ ン ク		
	〈A〉 水防上最も重要な区間	〈B〉 水防上重要な区間	要注意区間
堤防高	計画高水流量規模の洪水の水位が現況の堤防高を超える箇所	計画高水流量規模の洪水の水位が現況の堤防高との差が堤防の計画余裕高に満たない箇所	—
堤防断面	現況の堤防断面あるいは天端幅が計画の堤防断面あるいは計画の天端幅の2分の1未満の箇所	現況の堤防断面あるいは天端幅が計画の堤防断面あるいは計画の天端幅に対して不足しているが、それぞれ2分の1以上確保されている箇所	—
漏水	漏水の履歴があるが、その対策が未施工の箇所	漏水の履歴があり、その対策が暫定施工の箇所。又は、漏水の履歴はないが、破堤跡又は旧川跡の堤防で、漏水が発生する恐れのある箇所です。その対策が未施工の箇所	—
水衝・洗掘	水衝部にある堤防の前面の河床が深掘れしているが、その対策が未施工の箇所。又は、橋台取付部やその他の工作物の突出箇所、堤防護岸の根固め等が洗われ、一部破損しているがその対策が未施工の箇所。波浪による河岸の欠陥等の危険に瀕した実績があるが、その対策が未施工の箇所	水衝部にある堤防の前面の河床が深掘れにならない程度に洗掘されているが、その対策が未施工の箇所	—
工作物	河川管理施設等応急対策基準に基づく改善措置が必要な堰、橋梁、樋管その他の工作物が設置されている箇所。又は、橋梁その他の河川横断工作物の桁下高等が計画高水流量規模の洪水の水位以下となる箇所	橋梁その他の河川横断工作物の桁下高等と計画高水流量規模の洪水の水位との差が堤防の計画余裕高に満たない箇所	—
工事施工	—	—	出水期間中に堤防を開削する工事箇所または、仮締切等により本堤に影響を及ぼす箇所
新堤防	—	—	新堤防で築造後3年以内の箇所
旧川跡	—	—	破堤跡又は旧川跡の箇所

各種別ごとに一定の基準にしたがい、ランク分けをしています。